

「学級クラブ」というのは3年生の係活動で有効でした。子どもたちは次の学年から始まる「クラブ活動」にたいへん興味を持っています。そこで、「学級にクラブをつくらうか」という呼び掛けでできたものです。

「研究会」というのは、「係をつくらう」という話合いの時、ある子が「研究会をつくってもいいですか」と発言したことをきっかけに生まれたものです。いろんなことを調べてみたい、調査してみたいという子どもたちの思いから考え出されたものです。

「新聞社」というのは、私が子どもたちに「書く習慣」をつけさせたいと思い、係活動に内容に「係新聞作成」を入れたことから生まれた名前です。

2 学級通信を考える～その22：先生ネタ

山口市立平川小学校 梶田崇晴

一般的に学級通信には、学級や学校での出来事を書きます。

私は、学級通信の一部に、コラム欄と称して自分自身のことを書いてみたことがありました。私が書いたのは、次の6つのことでした。

普段考えていること

発見したこと

子どもが見た先生のこと

家族のこと

家庭での話題のこと

趣味の話

けっこう保護者にも評判がよく、ちょっと出会ったときの話題にもなっていました。ただしこれはあくまでも息抜きですので、その点をわきまえておきたいものです。

コラム“先生の性格予想”その1～陽気でうっかりもの(〇〇くん)

伊藤くん、よく見てますね。特に後半の「うっかりもの」っていうのは、ぼっちりで。よく職員室に忘れ物をしてくるんですね。それから、みんなへの伝言を忘れていたりすることもたまにあります。笑って許してください。

2002年6月4組学級通信「スマイル」第4号より

3 山口学級活動ネットワーク夏の学習会を終えて

去る8月5日、36名の参加者をもって、山口学級活動ネットワーク夏の学習会を行いました。今回は、新潟から赤坂先生、仙台から八巻先生に来ていただいて、

「明日からの学級づくりを考える」をテーマに行いました。参加者は36人と、夏季休業中の日曜日にもかかわらず、たくさんの方に集まっていたのでの会を行うことができました。

赤坂先生からは、アドラー心理学に基づいたクラス会議の実践を語っていただきました。学級活動の時間をどうして大切にしなければいけないかというメッセージも織り交ぜながら、実践たっぷりのお話が聞けました。

八巻先生からは、構成的グループエンカウンターについての実践だけでなく、その意味や実践の際に気をつけることなど、書籍からはなかなか読み取れない部分を中心にお話をしていただきました。

たいへん実りの多い一日になりました。参加された先生方からは、「早く2学期にならないかな」という声を多く聞かせていただき、この会が先生方のお役に立てたということを実感しました。

参加された先生方に書いていただいた感想の一部を紹介しておきます。

今日はとても勉強になりました。理論ばかりでなく、実践を聴く時間が多くあったので、非常に分かりやすかったと思います。学級会にかける時間は少なくなってきましたが、今日学んだことを自分の学級でどんどん取り入れていきたいと思えます。また、学校のほかの先生方にも機会をみながら話をしていきたいと考えています。

心が温かくなるプログラムがとてもよかったです。もっとたくさんの方が参加されるのかと思いました。みんな、参加すればいいのにと思いました。みんなに教えてあげたいです。エンカウンターの方法がとても分かりやすかったです。おみやげもたくさんもらえました。また開いてください。

一日かけて充実した研修をありがとうございました。今まで本で拝見していた八巻先生に初めてお会いできてとってもうれしかったです。本を書かれるくらいの人なのでもっと難しい話をされる人かと思っていたのですが、やさしい語り口調で、演習も交えながらお話しされるのを聞いて、びっくりしました。八巻先生のファンになりました。

これまで学級活動をどのように進めていけばよいのか試行錯誤しながら進めていましたが、効果が上がりませんでした。その点、今日は具体的な方策が示されたので、これから参考にできるところは十分に参考にしていきたいと思えます。

学級活動に、今日、学んだことを取り入れて、心を開き、安心できる学級づくりを行っていきたいと思えました。よりよい人間関係を築くことが子どもも大人もすべての基本となることを再確認しました。そのための方法（コツ・技）を知っていることは、とても自分のための力になると思えます。今日、参加できてよかったで

す。

午前中、午後とも充実した講座で、参加してとてもよかった。SGEの本によく名前が掲載されている八巻先生にお会いできて嬉しかったです。また、実際に講座を受けたのも初めてで、体験的に学習できました。

八巻先生の穏やかな話しぶりでも眠くならない内容がたっぷりでした。午前中の赤坂先生のユーモアたっぷりのお話にも思わず引き込まれ、夏の暑さを忘れる実りの多い研修会でした。

「学級づくりは見て学べ」と言われても、実際どうしたらよいのか分からず一学期を過ごしてしまいました。学級の実態に合わせてすぐに使えるものがたくさんあり、参考にできて良かったです。また自分が実際に活動したことで、子どもたちも発言には勇気がいったんだとか、恥ずかしくてなかなか言い出せない気持ちりが体感でき、子どもたちへの接し方を考えるよい機会になりました。

赤坂先生と八巻先生、両先生にはとてもおもしろくためになるお話や具体的にいっしょに体験をさせていただいて本当にありがたく思っております。広島からきたかいはありました。ゆったり一日、一人の先生でお話や活動が体験できたら…などとぜいたくなことも考えますが、お忙しい中、準備など本当にありがとうございました。学級活動の輪を広げておられる先生方のお力に敬服いたします。

学級づくりという言葉に惹かれ、今日の会に参加させていただきました。とてもいい一日を過ごさせてもらい、よしがんばって子どもたちとよい学級づくりをしたいと思いました。午前の赤坂先生はテンポと歯切れのよいお話と、いろいろな工夫に感心しました。自分なりに何かしていきたいと思います。午後の八巻先生からは、エンカウンターを今までも少しはしたことがありますが、もっと積極的に子どもたちに合わせて取り入れていきたいと思いました。自分自身が体験できたのが良かったです。

今日は講義・演習に参加することができ、貴重な時間を過ごせました。ありがとうございました。子どもたちが主体的に活動することができる学級づくりのヒント、子どもたちの人間関係を豊かにするためのヒントがたくさん得られました。今、担任している子どもたちの現状と照らし合わせて、どの活動を取り入れていくか、これから考え、工夫したいと思います。

学級活動ネットワークというものがどういうものかわからずに参加しましたが、予想以上の内容でうれしい限りでした。日頃から子どもたちの人間関係について、何とかせねばと思っていたので、2学期から取り組めるものからやってみたいと思います。教科等の指導はもちろんですが、やっぱりクラスの雰囲気、クラス内での

(教師も含めて)人間関係が一年間を楽しく過ごせるか、けんかばかりで過ごすかの分かれ道だと思います。すぐに答えは出ないかもしれないけど、まず実行してみようと思います。ありがとうございました。

2学期に入ってすぐに実践してみたいと思うものが多くありました。もう一度自分なりに整理し、実践につなげてみたいと思います。子どもたちとともに素敵な学級をつくりたいなという思いがより強くなりました。

赤坂先生、八巻先生というお二人のお話が一度に聴けてたいへん有意義な研修でした。赤坂先生には「困った子への対応」など生徒指導的なお話をうかがうことが多かったのですが、学級づくりについてたっぷり学べてよかったです。八巻先生のエンカウンターは、今まで本などで自己流に真似をしていたのですが、実際に八巻先生が演習の形でされて、「こんなことに気をつければいいんだ」ということや理論的なことも理解できました。熱意のある意欲的な先生方とともに学べて本当によかったです。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第41号は8月下旬ごろ発行予定です。

次号は、「係活動」について第10弾をお送りする予定です。

原稿の投稿がありましたら、そちらを優先することがあります。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は176名まで増えました。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

夏の学習会で「9月の休み明けについての取組み」についての情報が欲しいという要望がありました。そのことについて情報交換したいと思っています。先生方が取り組んでおられるミニ実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知表

以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====